

今 利 一

(市民連合)

長寿国での交通安全対策は

問 日本人の平均寿命は今や世界一、豊かな高齢社会を実現する為には、豊富な知恵を持つて

いる高齢者が安心して生活できる社会環境創りを勤めていくことが重要、交通安全対策も一つ。

高齢者の自動車の運転は、行動範囲を飛躍的に拡大し、また、過疎地にとっては切り離すことの出来ない交通手段。しかし、加齢と共に肉体、精神的衰えは避けられない現実。扇山旧国道の今後の改良の見通しと、本格



扇山旧国道

的な高齢社会に向けた総合的な高齢者交通安全対策は。

答 扇山に於ける事故後、道路診断を行い、警戒標識2基、カーブ誘導標識2基、その他二つの看板を設置、道路改良は難しい状況。今後は、速度規制標識を公安委員会に要請。

自転車は歩道通行可か

問 6月1日の改正道路交通法の施行により自転車の歩道乗り入れが、13歳未満、70歳以上の高齢者に限り可能になった。しかし、市が発行した「改正道路交通法のあらまし」の自転車編では「車道通行が危険な場合は通行可」としている。現行の法の中では自転車は車輛であり、歩道での通行は不可能である。矛盾が生じている。市民の対応はいかにすべきか。

答 道路交通法の趣旨に沿った歩行が基本である。小・中学生その他観光客については、マナーの徹底に努めたい。

【その他の質問】

- ◇未舗装道路における防塵対策
- ◇市道の草刈について
- ◇道路側溝の改良について

用語解説

一般会計

地方公共団体の会計の中心となるもので、行政運営のため経費全体を網羅する。ただし、行政活動が多岐に亘り単一の会計では内容が把握しにくい場合、別に特別会計を設ける。

特別会計

特定の収入を使って特定の事業を行なう場合に、経理を明確にするため、一般会計と分けて経理する会計をいう。国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療・公共下水道事業など。

公営企業会計

住民サービスを提供するため事業に係る経費を使用料等の収入でまかなう会計で、地方公共団体が経営する企業。水道事業など。

繰越明許費

歳出予算のうち、当該年度内に支出が終わらない場合、議会の議決を得て、翌年度に限り繰り越して使用する予算。

広域連合

地方公共団体の組合。広域的ニーズに柔軟かつ効率的に対応するとともに、権限委譲の受け入れ体制を整備するための制度。



定例会・臨時会

定例的に開催される議会の会議のことを「定例会」という。地方自治法に基づき、条例で定める数だけ開催する。富良野市では3・6・9・12月の年4回行なわれる。また、これとは別に必要に応じて開催されるのが臨時会である。

常任委員会

議会で取り扱う問題は、数が多く、内容も幅広い分野にわたっているため、いくつかの部門に分けて専門的に審査した方が効率的なことから委員会を設けている。富良野市議会は、3常任委員会（総務文教・保健福祉・経済建設）が設置されており、議員は必ず一つの委員会に所属することになっている。

議会運営委員会

議会を円滑に運営するため議会運営全般について協議し、意見などの調整を図るため設置されている委員会。

意見書

市の公益に関わることであったりも、国や都道府県が所管するものについては、市単独で解決できない。このような場合、地方自治法に基づき市議会の意思を意見として文書にまとめ、国会、国、道などの関係行政庁に提出することができる。